



新型コロナウイルスでの災害避難はどうする！

※新しい避難所の在り方と

いま、新型コロナウイルス感染で大変な思いをさせられ、新しい生活様式を強いられています。このような時期に災害が起こったらと思っただらぞっとしませんか。日本は地震大国で、大雨、台風、津波と毎年やってくる。それで新しい避難所の在り方が出されました。

※避難所では密をどう避けるのか？

◎現在は避難所では、一人当たり畳1枚でしたが2枚にして人との距離を置く。

◎今までは支えあい、コミュニケーションが大事でしたが、感染拡大につながるのをマスクし距離をおく対策が必要になります

※飛沫感染

◎咳をした場合ウイルスは1,5m飛びます。また、そこを歩くと床から20センチほど、ほこりとウイルスが飛び交います。

◎段ボールベットが効果的です。30cmほどの高さがあるので、床から離れ低体温症を抑えることができます。

◎トイレの手すり、エレベーター、ドア、階段の手すり、掲示板、携帯、時計等

※避難所での生きる術

◎避難所は避難者が殺到しますので、人を選べる場所ではありませんし、公共の場所

では、避難する方の定員が必要になってきます。そのため 避難の見直しが必要になります。これからはマルチ避難(分散避難)が必要になります。

※マルチ避難(分散避難)とは

①在宅避難

◎危険性がないことを確認して、できれば自宅の2階に避難。1週間程度の食料品の確保する。在宅避難は、感染リスクを防止させます。

②民間施設利用の避難

◎町会、集会場、寺、会社の会議室、高層住宅、親戚宅

③車中避難

◎エコノミー症候群に気を付け適度の運動。寒冷期は、換気をひんぱんにする。

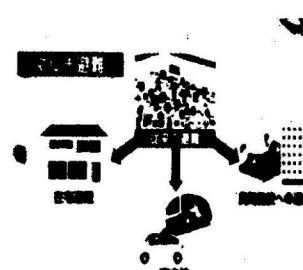
※点検項目

◎体温・咳・喉の痛み・息苦しさ・鼻水・頭痛・胸の痛み・くしゃみ・倦怠感・味覚障害・臭覚障害

※必需品

- 1 マスク 2 消毒液 3 体温計 4 使い捨て手袋

せきエチケット



- ◎避難所のクラスター対策
- ①三部屋用意する
- ◎感染者保護する部屋
- ◎中間的部屋(症状がはっきりしない人)
- ◎元気な人の過ごす部屋

※日頃からの想定

- ◎災害にあった時は、パニックになるのでいまから想定して考えておくこと。
- ◎バザーマップ、家の構造、家族との連絡方法、車中避難の危険を認識しておく。
- ◎被災は避けられないのでいかに逃げる方法を考えておくこと。
- ◎新型コロナウイルスかどうか最初はわかりません。クラスターを大きくしないための対策が必要です。
- ◎共用使用部分注意し、清潔をたもつ行動が予防につながります。
- ◎今までのように何かあったら支援に行くのが難しくなります。
- ◎被災地の人たちは、自分で自分の対策を考える必要があります。